



# 柏の葉だより



市川市立第五中学校

第4号 令和4年7月4日

## 「学校教育目標」

学ぶ楽しさを知り 生きる喜びが分かる 心身ともにたくましい生徒の育成を目指す

## 1学期のまとめ



7月になり、1学期の最後の月、まとめの月になりました。今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、いろいろな事に制限がある学校生活において、数々の対応にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度は、4月・6月のオープンディ、5月の修学旅行・体育祭と徐々に通常の形式での活動ができるようになりました。今月から始まる部活動の大会も、競技によっては保護者の観戦に制限がある種目もありますが、概ね例年に近い形での開催が予定されています。

今年は6月に梅雨があげ、日々厳しい暑さの中での生活になっています。コロナ対策に加えて熱中症対策も必要です。子供たちは2年以上に及ぶコロナ禍での生活において、変化が求められ対応するようになりました。マスク生活で表情を読み取る事に不便さがある中、また人と人との距離が求められる中でも、人とのコミュニケーションをとることの大切さを学びました。コロナ禍以前の学校生活に完全に戻す必要はないかもしれませんが、今後はコロナ収束後に予想される学校生活の急激な変化にも対応していかなければいけません。

激動する社会の変化に対応していくことが求められる現在の中学生は、コロナ禍で過ごした学校生活の中で心や体にストレスがかかっています、しかし同時に順応力・対応力を発揮して生活しています。ともに寄り添い育てていく視点で、家庭と学校、地域が連携することは不可欠です。お子さんの様子で気になることがありましたら、現在行われている三者面談等の機会も生かして遠慮なくご相談ください。

夏も本番を迎え、感染症予防と熱中症予防の両対策が必要です。家庭で過ごす時間も多くなります。大切にお過ごしください。

## 第1回学校運営協議会を開催しました

6月24日（金）第1回学校運営協議会が行われました。学校運営協議会とは、市川市教育委員会から任命された地域住民、保護者の代表等の委員が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する“学校応援団”のことです。第五中の学校運営に対して、様々な角度からご意見やご支援をいただきます。

24日の会議では、学校運営の基本方針（生徒に自己決定の場を与えること、生徒に自己存在感を与えること、共感的人間関係を育成すること等）の承認をいただき、現在の五中の様子やコロナ収束に向けた地域との協力体制の確認などを行いました。

今後は第2回・9月「授業参観」と「学校評価について」、第3回・12月「生徒代表・若手教職員との懇談」、第4回・1月「まとめ、来年度に向けて」等が予定されています。委員の方々からは、コロナ禍で中止されている学校（授業）参観を要望する声が多く、活発な意見交換の機会となりました。

＜令和4年度学校運営協議会委員 ◎会長 ○副会長＞（継承略）

山岸 孝男◎	元大洲中学校校長	荒井 誠○	前PTA会長
岡本 宜幸	地域学校協働活動推進員	井上 直	PTA会長
高梨 桂子	元PTA本部役員	藤代三代子	少年補導員
京極 敬之	元市川小学校校長	川俣 興一	本校校長
大石 武弘	本校教頭	立石 隆	本校生徒指導主事

## 自主活動(委員会)の紹介



6月は、大きな行事もなく定期テストなども実施し、比較的落ち着いて学習や部活動に取り組むことができた期間でした。そうした中、3階女子トイレのトイレットペーパーがいたずらされ、散乱していることが2日連続でありました。

そうした事件に不安を感じた、3階を主に生活スペースにしている2年生の風紀委員会の生徒が自分たちで考えてポスターを作成し、朝の会でクラスに呼び掛けたところ、それ以降そうしたいたずらはおきていません。生徒たちの自主的な活動は学校生活の大きな原動力となりました。

五中HPを  
ご覧ください



＜文責・川俣＞



＜風紀委員会作成ポスター＞